

日本とオーストラリアの図書館の違い

佐藤 胡桃(中学3年)

最初に図書館を見たとき、とても広くて、外観もデザイン性のある素敵な施設だと感じました。カムデンはそれほど大きな町ではないのに3つも図書館があると知って、驚きました。その後中に入って、本の貸し出しと返す説明を聞くとさらに驚きました。システムがとても進んでいたからです。日本では本を借りるとき、図書館の人にバーコードを読み取ってもらわなければいけません。それに対してカムデンではレジスターのような機械でバーコードを読み取って借りていました。本を返す時も機械を使っていました。そのあと機械に入ると、ベルトコンベアで運ばれて、自動で本が分別されていました。

その後、2階に上がってみると、レーシングカーの写真の展示もありました。説明を聞くと、その土地はもともと車のレースをしていたところだったので、レーシングカーを使った展示がたくさんあるのだと言っていました。1階の床にも、レーシングカーのルールや、表彰台のようなものもありました。図書館に来た若い人も、興味を持って自分の土地について知れるのでとてもいい展示だと思いました。他にも、ミニカーだけで作った顔のようなものもありました。2階には、たくさんのミーティングする部屋や、勉強する部屋もありました。日本だと、若い人はあまり勉強しに図書館に来ないイメージがありますが、若い人がたくさん来ていました。フリーWi-Fiや画面ミラーリングなどの設備も充実していて、とても良い環境で若者も来やすいと思いました。

また、1階にも2階にも最新技術を生かした子どもが遊べるスペースがありました。蝶がとんでいたり、足踏みすると石がなくなったりする仕掛けがあり、来ていた子はとても楽しそうでした。子連れの人でも安心して行ける施設だと思いました。日本の図書館はとても静かで子連れの人には少し来にくいのではと思いました。他に日本と違うと思った点がいくつかありました。一つ目は1階にカフェがあるところです。二つ目は携帯から本の借り出し延長ができるけど、延滞したらお金を払わなければならないところです。

日本と同じ読み聞かせ、図書館に来られない人に本を届けるサービス、その土地について学習できるサービスなども行なっていました。人口が多い市ではないのに地域の人々が来やすい色々な工夫がされていて、感動しました。友達と一緒に勉強したり、1人でも本を読みに行ったりできて、1日楽しめると感じました。とても親しみやすい施設だと感じたので、いつかこの図書館で一日過ごしてみたいと思いました。



図書館の外観